

令和3年度 岡山県立笠岡高等学校 学校経営の具体的計画

本年度の重点目標	分掌	本年度の重点目標を達成するための課・学年での重点目標(めざす具体的な姿)	本年度の重点目標を達成するための課・学年内での具体的方策(教育活動)	評価基準
1 可能性を引き出す個別最適な学びの促進	教務課	「千鳥型学習指導のスタンダード」に基づく授業の実践、および継続的な指導の改善を推進する。	校内互見授業と公開授業において、授業実践の成果と課題を教員間で共有できるよう、授業改善につながる枠組みを整える。	学校自己評価アンケート(生徒)で評価。 「笠岡高校で行われている授業は、魅力的で、意欲的に取り組みたくなる授業ですか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①+②の割合(昨年度78%) 4:80%以上、3:75%以上、2:70%以上、1:70%未満
		少人数、習熟度別授業の効果を高める工夫を実践し、成果を共有する。	学力向上委員会と協働し、少人数、習熟度別授業の効果を高める工夫の実践を各教科に促し、その成果を共有できる枠組みを整える。	学校自己評価アンケート(生徒)で評価。 「選択授業や進路志望、習熟度等で講座を分けた授業は、あなたの学力の向上につながっていると思いますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①+②の割合(昨年度91%) 4:95%以上、3:90%以上、2:85%以上、1:85%未満
	図書情報課	生徒が図書を活用し、自らの興味関心や学習内容を深めたり広げたりできるよう支援する。	教科等と連携して書籍を選定・購入・配置し、生徒が図書館内外で日常的に活字に親しむ環境を整える。	一人あたりの貸出冊数で評価。 (コロナ禍以前の平均値:4.2冊/1人、昨年度3.1冊/1人) 4:4.5冊以上、3:4.0冊以上、 2:3.5冊以上、1:3.5冊未満
		生徒が情報機器を活用し、自らの興味関心や学習内容を深めたり広げたりできるよう支援する。	教科等と連携してICTを利活用できる環境を整え、個別最適な学びを支援する。	学校自己評価アンケート(生徒)で評価。 「笠岡高校のICTを利活用した学習は、あなたの興味関心を深める、または、学習内容の理解を助けるものとなっていると思いますか。」(新規項目) ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①+②の割合(新規のため昨年度なし) 4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:70%未満
2 夢と志を育むキャリア教育の深化	進路課	ACTを中心としたカリキュラムマネジメントを推進し、生徒の主体性と挑戦する力を育てる。	ACTプログラムでの学びと教科や特別活動での学びとの往還を意識した教育活動が展開できるよう、校内外での生徒の学びの機会の充実と探究活動に関する教員研修の充実を図る。	学校自己評価アンケート(教員)で評価。 「笠岡高校は『総合的な探究の時間(ACT)』などを利用して、将来の進路や生き方について、考えを深めさせるように、計画的に指導していますか」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①+②の割合(昨年度92%) 4:94%以上、3:92%以上、2:90%以上、1:90%未満
		キャリアカウンセリングを充実させ、個性と可能性を伸ばす進路指導を推進する。	生徒一人一人に応じた教科カウンセリングや個人面談、進路志望別のガイダンスや体験機会の充実を推進する。	学校自己評価アンケート(生徒)で評価。 「笠岡高校は『総合的な探究の時間(ACT)』などを利用して、将来の進路や生き方について、考えを深めさせるように、計画的に指導ができていますか」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①+②の割合(昨年度83%) 4:85%以上、3:83%以上、2:80%以上、1:80%未満

令和3年度 岡山県立笠岡高等学校 学校経営の具体的計画

本年度の重点目標	分掌	本年度の重点目標を達成するための課・学年での重点目標(めざす具体的な姿)	本年度の重点目標を達成するための課・学年内での具体的方策(教育活動)	評価基準
3 主体性と豊かなつながりを生み出す活動の充実	総務課	生徒が主体的に広報活動に参画できる機会を設けるとともに、生徒目線の広報活動を推進する。	オープンスクールや千鳥ゼミ、中学校母校訪問、学校説明会等に使用する動画作成や当日のプレゼンテーションなど生徒が主体的に活動する場を設ける。	広報活動において生徒が参画した事業数で評価。 (昨年度:3件) 4:4件以上 3:3件 2:2件 1:1件以下
	生徒課	ホームルーム活動や生徒会活動(各種委員会や学校行事等)への生徒の主体的な参加を促す。	・生徒会総務部を主体とした各行事の執行委員の組織化、及び、各実行委員会における事前打ち合わせや役割分担が効果的に行われるよう支援する。 ・できるだけ多くの委員会で、生徒が主体的な活動に取り組めるよう支援する。	学校自己評価アンケート(生徒)で評価。 「ホームルーム活動や生徒会活動(各種委員会や学校行事等)に、生徒が主体的に参加していると思いますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①+②の割合(昨年度:生徒89%、一昨年度:89%) 4:95%以上、3:90%以上、2:85%以上、1:85%未満
		挨拶をはじめとしたコミュニケーションスキルを高め、好ましい人間関係を形成する能力の向上を図る。	・生徒主体のあいさつ運動の実現に向けて、生活委員会や生徒会総務部を支援する。 ・挨拶を日々励行するとともに、社会で必要な基本的なコミュニケーションスキルの向上を図る。	学校自己評価アンケート(生徒)で評価。 「笠岡高校の生徒は、学校内や地域で、積極的に挨拶ができていますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①+②の割合(昨年度:68%、一昨年度:55%) 4:80%以上、3:70%以上、2:60%以上、1:60%未満
	健康・環境	教育相談にかかる校内体制を整備し、教育相談的関わり方についての意識やスキルの向上を図る。	生徒支援に関する教員研修を充実させる。	生徒支援に関する各研修後の教員アンケートで評価。 「生徒支援についてスキルアップできたと思いますか。」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①+②の割合の平均 4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:70%未満
		防災・安全についての生徒の意識を高め、防災・安全に関する社会貢献活動に積極的に取り組もうとする態度を養う。	防災講演会を企画する、総合的な探究の時間に「防災」「安全」に関わるテーマを追加するなど、新たな企画に取り組む。	各企画の後に実施する生徒アンケートで評価。 「防災・安全意識が向上しましたか」「社会貢献活動(実践を含む)への意欲が高まりましたか」 ①はい・そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない ④いいえ・そう思わない ①+②の割合の平均 4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:70%未満